



## □□臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター  
内科 木村 武志

### 【研究責任者】

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 内科 木村 武志

## 「人間ドック受診者の血清オミクス解析による非アルコール性脂肪性

### 肝疾患の診断および発症判定システムの性能検証試験」

#### □□研究の対象

2016年10月5日～2017年10月4日に聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター1日人間ドックを初めて受診された方で、余剰血液の研究への利用・保存に同意し、検体を保存している方

#### □□研究の目的・方法

本研究は人間ドック受診の方で採血させていただいた余剰検体を調査することで、非アルコール性脂肪性肝疾患(nonalcoholic fatty liver disease: NAFLD)の診断、および将来に発症する可能性の予測がどの程度の確かさを持っているかの確認(性能検証)を目的としています。

具体的には私共が共同研究で開発したNAFLDの診断および発症予測判定システムの検証をシステム開発で検討した対象者(2015年10月5日から2016年10月4日に受診された受診者の方)と異なる対象者(2016年10月5日から2017年10月4日に初めて受診された受診者の方)の保存検体を使用して行います。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

#### □□研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、検査値、等

《試料》 余剰血液

#### □□外部への試料・情報の提供

共同研究先へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

#### □□研究組織

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 内科 木村 武志

聖路加国際大学医科学研究センター 大竹 淳矢、越坂 卓也

島津製作所 佐藤孝明

東京大学医科学研究所先端医療研究センター 准教授 野島正寛